



23 春闘シリーズ⑤

第 1 回交渉以降

生活実感

労働実態

怒

寄せられた若手社員の声

- 鉄道開業 150 周年イベントを多く開催し、終わるごとに大盛況と言っている。各種イベントを担ったメンバー以外の社員も休日出勤や留置箇所変更に伴う睡眠時間の減や超勤で変行路の作成等の業務を支えてきた。その努力に応えてほしい。
- ダイヤ改正以降、行路数減少や指示業務が加わることで **1 行路あたりの仕事量が増える**ため、賃金が上がらなければモチベーションが維持できない。
- 電気代が値上がりし、先月の電気代が 2 万円を超え驚いた。様々な物の値段が上がっているため、**物価上昇も考慮した賃上げが必要**。
- 出さない理由ばかり挙げるのはナンセンス。**社員の生活実感に寄り添っていない**。
- 物価の高騰は連日報道されているのに、そのことに触れないのはもはや世間知らず。**足元ばかり見ずに周りを見るべき**。
- 社員に増収・コストダウンを強いるなら**経営側も努力を目に見える形で示して欲しい**。
- 「とにかく賃金を上げたくない」という事が伝わってくる状況に**怒りしかない**。貯金も出来る状況ではない。物価に対応しようという**意思も感じられない**。「物価に対する調整はボーナスで」という意思もないし、「今の賃金を維持させろ」という気持ちしか伝わってこない。

23 春闘要求満額獲得のため J R 東労組に結集しよう!